

# コクヨグループ CSR 報告書 2015

KOKUYO Group CSR Report

データ集



1905年 創業



創業者 黒田善太郎



大正時代の和帳



正百枚の精神



新町の店舗



初めての商標「国誉」



色紙付書翰箋



3K 便箋紙のレットル



複写式電報頼信紙



バインダー



1936年 本社



インキの看板



インキ kk55



測量野帳



為替手形



初のスチール製品  
(ファイリングキャビネット)



純三極半野帳



請求書用紙



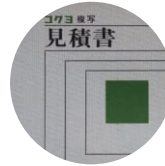
八尾工場



御茶ノ水オフィス



回転椅子



見積書



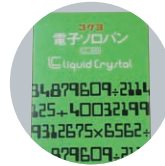
ジュワリーメンバーズ発足会



1969年 本社新社屋



ライブオフィス広告



電子ソロバン(箱)



タックインデックス(箱)



移動机席(両国国技館)



ロンリーリトルフォックス  
(オリジナルキャラクター)



ECIFFO



ミス・プランチ



1981年 ロゴ刷新



高級集計用紙



くるくるメカ



ダイナフィットチェア



MXデスクシステム



タイトルプレーン



ポシェットアルバム



3代目キャンパスノート



ケシビタ



ペジェ



AGATA(アガタ)



ハコボ



ラッチキス



AGATA/D(アガタディー)



カドケン



ナースingカート



ドットライナー



5代目キャンパスノート



黒曜石



roll table  
(ロールテーブル)



Campus UP  
(キャンパスアップ)



SAIBI(サイビ)



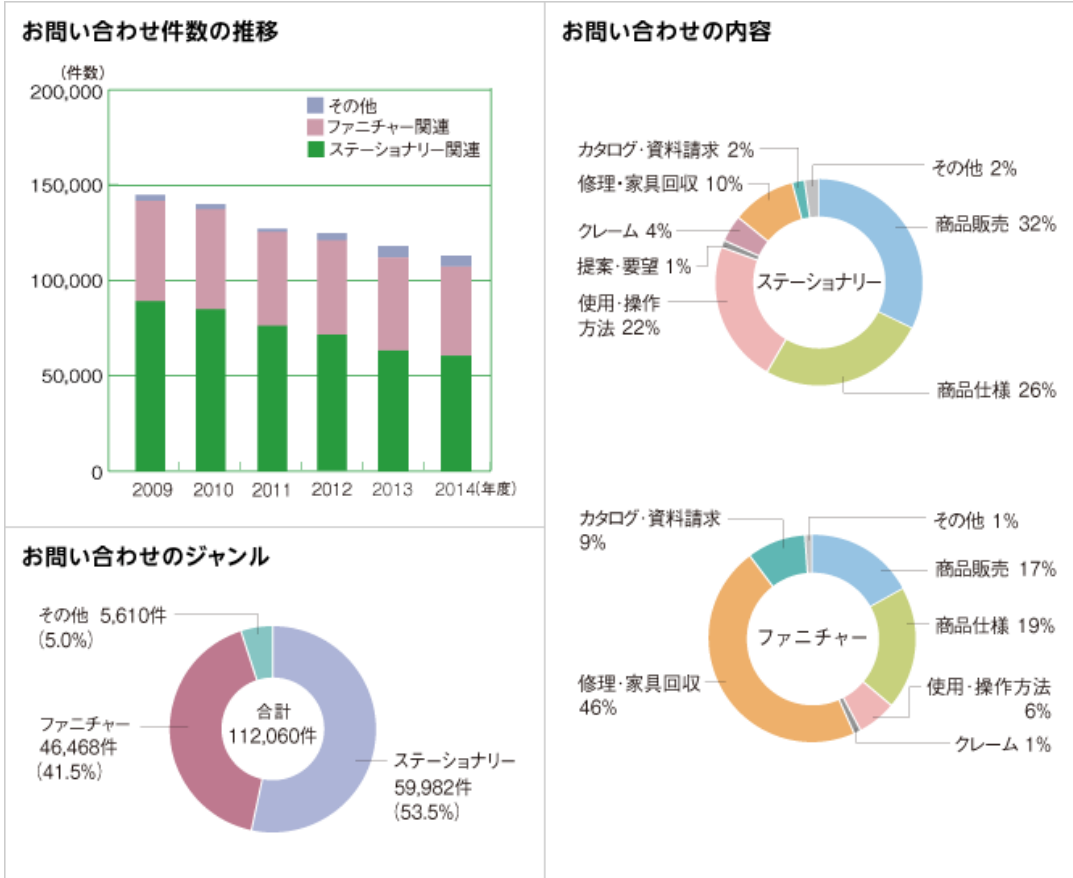
■ データ集

社会

■ 報告対象期間

該当年の1.1～12.31(実績は12.31現在の数字)

■ お客様の声の反映



## 従業員関連データ

### 単体・連結

		対象	2011年	2012年	2013年	2014年
役員数取締役数	社内	単体	3人	3人	3人	5人
	社外	単体	3人	3人	3人	4人
監査役数	社内	単体	2人	2人	2人	2人
	社外	単体	2人	2人	2人	2人
従業員数 ※正社員および 一部契約社員含む	男性	連結	4,552人	4,756人	4,660人	5,071人
	女性	連結	1,625人	1,733人	1,739人	1,602人
	計	連結	<b>6,177人</b>	<b>6,489人</b>	<b>6,399人</b>	<b>6,673人</b>
	男性	単体	94人	219人	207人	222人
	女性	単体	54人	128人	133人	126人
	計	単体	<b>148人</b>	<b>347人</b>	<b>340人</b>	<b>348人</b>
	国内事業所における外国人	単体	6人	11人	14人	4人
非正社員数 ※( )は非正社員比率		連結	2,060人 (25%)	2,335人 (26.5%)	2,159人 (25.23%)	2,153人 (24.39%)
障害者雇用率		グループ適用 実施会社	2.41%	2.27%	2.24%	2.14%

### 主要会社

対象:コクヨ(株)、コクヨS&T(株)、コクヨファニチャー(株)、コクヨマーケティング(株)、(株)カウネット、コクヨエンジニアリング&テクノロジー(株)、(株)コクヨロジテム、コクヨサプライロジスティクス(株)

		2011年	2012年	2013年	2014年
世代別従業員数	30歳未満	359人	331人	308人	281人
	30～39歳	1,090人	960人	867人	765人
	40～49歳	1,425人	1,514人	1,600人	1,563人
	50～59歳	643人	671人	694人	704人
	60歳以上	66人	76人	103人	131人
	計	<b>3,583人</b>	<b>3,552人</b>	<b>3,572人</b>	<b>3,444人</b>

		2011年	2012年	2013年	2014年
平均年齢	男性	43.19才	43.74才	44.28才	44.86才
	女性	36.33才	37.13才	37.64才	37.75才
	平均	<b>41.84才</b>	<b>42.43才</b>	<b>42.95才</b>	<b>43.42才</b>
平均勤続年数	男性	18.07年	18.52年	18.91年	19.15年
	女性	12.39年	13.18年	13.56年	13.41年
	平均	<b>16.95年</b>	<b>17.46年</b>	<b>17.84年</b>	<b>17.99年</b>
新卒採用実績	男性	17人	26人	20人	32人
	女性	13人	20人	19人	22人
	計	<b>30人</b>	<b>46人</b>	<b>39人</b>	<b>54人</b>
中途採用実績	男性	9人	16人	37人	33人
	女性	2人	0人	10人	8人
	計	<b>11人</b>	<b>16人</b>	<b>47人</b>	<b>41人</b>
離職率 ※定年退職者除く	男性	1.13%	1.29%	1.23%	1.08%
	女性	3.17%	3.63%	3.17%	3.45%
	計	<b>1.54%</b>	<b>1.75%</b>	<b>1.61%</b>	<b>1.56%</b>
役職登用状況	(男性)役員以上	22人	25人	28人	29人
	(男性)部長	167人	167人	164人	122人
	(男性)課長	730人	729人	738人	715人
	(男性)係長	1,155人	1,172人	1,181人	1,072人
	(女性)役員以上	0人	0人	0人	1人
	(女性)部長	2人	1人	1人	1人
	(女性)課長	22人	25人	29人	29人
	(女性)係長	131人	147人	157人	176人
	(女性)管理職比率 (課長以上)	2.61%	2.82%	3.22%	3.46%
	(外国人)役員以上	0人	0人	0人	0人
	(外国人)部長	0人	0人	0人	0人
	(外国人)課長	1人	2人	2人	1人
	(外国人)係長	1人	1人	3人	4人

		2011年	2012年	2013年	2014年
育児休業取得者数	男性	4人	1人	2人	1人
	女性	57人	71人	64人	64人
	計	61人	72人	66人	65人
介護休業取得者数	男性	0人	0人	0人	0人
	女性	1人	0人	0人	0人
	計	1人	0人	0人	0人
有給休暇の取得率 ※当年取得日数(前年繰越分含む)/ 当年付与日数(前年繰越分含めず)		46.66%	41.12%	45.94%	49.96%
従業員1人あたりの年間教育訓練費		57,199円	61,862円	57,330円	52,305円

## 労働安全衛生

対象:コクヨファニチャー(株)三重工場・芝山工場、(株)コクヨ工業滋賀、(株)コクヨMVP、石見紙工業(株)

	2011年	2012年	2013年	2014年
労働災害発生件数	4件	7件	5件	7件
労働災害度数率	2.1%	3.33%	2.26%	3.12%
労働災害強度率	0.139%	0.096%	0.033%	0.062%
労働災害休業日数	265日	202日	72日	139日

## 環境パフォーマンスデータ

### ■ 報告対象期間

2014年度(2014.1.1～2014.12.31)

### ■ 参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」

環境省「環境会計ガイドライン(2005年版)」

GRI「サステナビリティレポートガイドライン」

### ■ 報告対象組織

2012年度から対象範囲をすべての連結子会社にまで広げました。

ただし、2014年度の目標についてはAの範囲により目標を設定しているため、その実績を開示しています。

		連結会社	関連会社
B	A	ココヨ株式会社	
		ココヨS&T、ココヨファニチャー、カウネット、ココヨマーケティング、ココヨエンジニアリング&テクノロジー、ココヨサプライロジスティクス、ココヨロジテム、ココヨ工業滋賀、ココヨMVP、ココヨベトナム、ココヨ(マレーシア)、ココヨファイナンス	ココヨKハート、ココヨ-IK(タイランド)、KTL
	LmDインターナショナル、アクタス、国営(上海)企業管理有限公司、国営商業(上海)有限公司、国営家具(中国)有限公司、国営裝飾技術(上海)有限公司、ココヨインターナショナルアジア、ココヨインターナショナル(マレーシア)、ココヨベトナムトレーディング、ココヨカムリン	ココヨ北海道販売、ココヨ東北販売、ココヨ北関東販売、ココヨ東海販売、ココヨ北陸新潟販売、ココヨ山陽四国販売、ハートランド	

A: 2011年度までの報告対象範囲(ココヨ(株)と連結子会社12社、関連会社3社)

B: 2012年度からの報告対象範囲(2014年度はココヨ(株)と連結子会社22社、関連会社10社)

ココヨインターナショナルは2014年12月に清算したため対象組織から除外しましたが、開示する環境パフォーマンスデータへの影響はありません。

2014年度実績

環境方針	2014年度目標と結果		評価
	目標	実績	
地球温暖化防止	CO <sub>2</sub> 排出量の削減 総量削減:対前年比+0.3% (生産影響除く総量▲1.3%)	▲0.3% (生産影響除く総量▲3.2%)	○
	消費エネルギー原単位 前年比:▲0.1% (2010年度比:▲7.6%)	売上高原単位 ▲1.4% (2010年度比:▲8.8%)	○
省資源・リサイクル	廃棄物データ精度の向上 不良率の低減(生産)	リサイクル率 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所廃棄物:98.0%</li> <li>施工現場廃棄物:82.5%</li> </ul> 共通の不良率定義の決定	○
エコプロダクツの調達・開発・提供	エコ×ゼロの維持	エコ×ゼロが維持できている	○
情報開示・コミュニケーション	CSR活動の社員への浸透策の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>e-Learning:理解度100%</li> </ul>	CSR e-Learning実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>参加率:77%、理解度:84%</li> </ul>	△
環境経営	サプライチェーンにおける環境負荷把握方法の検討	環境省主催の「環境情報開示基盤整備に向けたサプライチェーン温室効果ガス排出量算定支援」に参加し、スコープ3の温室効果ガス排出量を算定した	○

※報告対象組織のAの範囲により目標を設定しているため、その実績を開示しています。



## エコ効率指標

コクヨグループでは、財務業績と地球環境とともに効果を総合的に評価できる指標として、独自の「エコ効率指標」を定めています。  
この指標は「一定の環境負荷に対する、製品やサービスの社会への提供度合い」を示すもので、次の4項目を対象にしています。

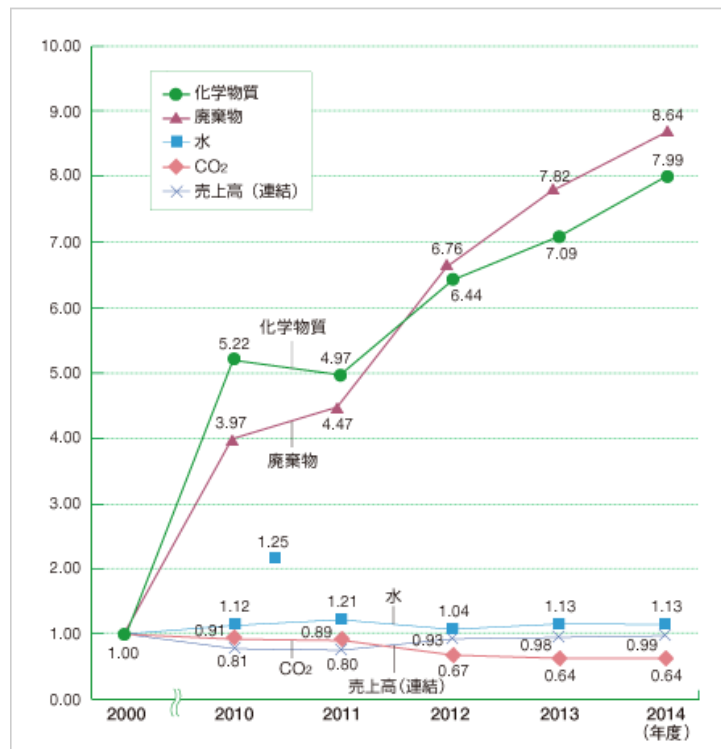
エコ効率指標 =

$$\frac{\text{当年度(売上高/各環境負荷量データ)}}{\text{基準年度(売上高/各環境負荷量データ)}}$$

1. CO<sub>2</sub>の排出量
2. 廃棄物の最終処分量
3. PRTR法対象化学物質の使用量
4. 水の使用量

各指標は、2000年度を基準にすることで、年度ごとの進捗状況を把握できます。

### エコ効率指標



※2011年までは報告対象組織のAの範囲で、2012年からはBの範囲で開示しています。

※化学物質はPRTR法の届出対象事業所が使用したPRTR法の第一種指定化学物質の取扱量により算出しています。

※コクヨファニチャー三重工場において排水処理に凝集剤として使用している塩化第二鉄が平成22年に第一種指定化学物質に指定されていたため化学物質のデータを遡って修正しています。なお、塩化第二鉄は排水処理の工程において中和反応後、水酸化第二鉄に変化し無害化され、廃棄処理されます。

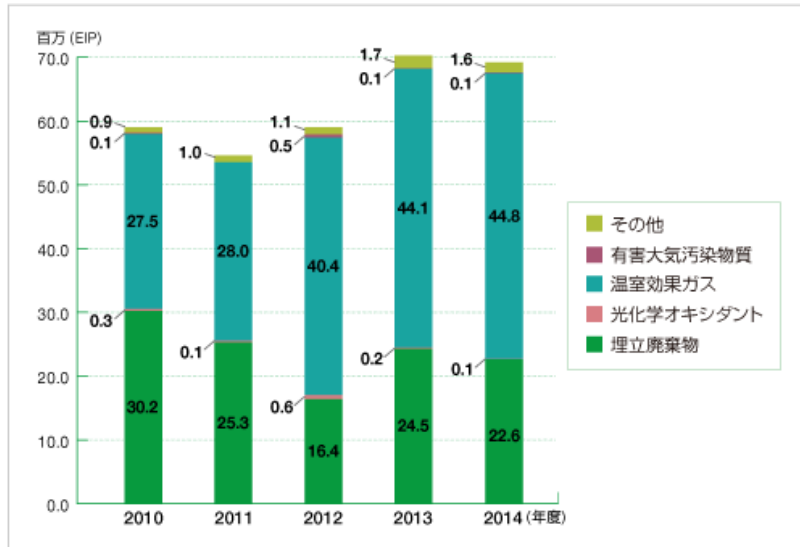




JEPIX(環境政策優先度指数日本版)とは、温室効果ガスや有害大気汚染物質など種類の異なる環境負荷の量を、環境影響ポイント(EIP)と呼ばれる単一指標として数値化する手法です。環境影響ポイントは、環境負荷物質ごとに「環境負荷量」に「日本の環境政策目標と実際の排出量比率から算出した統合化係数(エコファクター)」を掛けて、それらを合計することで算出します。

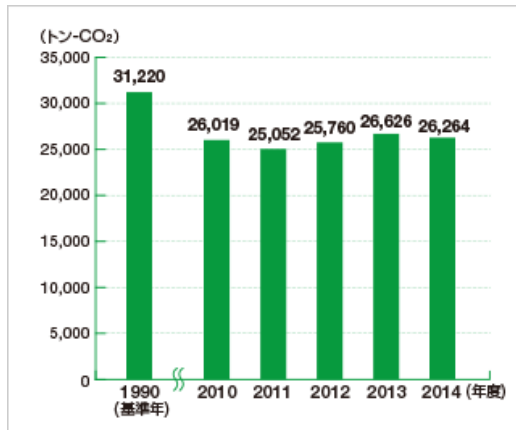
$$\text{環境影響ポイント(EIP)} = \sum (\text{環境負荷量} \times \text{エコファクター})$$

### JEPIX



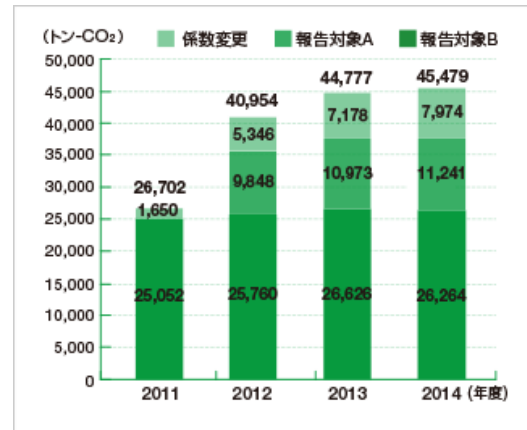
※2011年までは報告対象組織のAの範囲で、2012年からはBの範囲で開示しています。

CO2排出量の推移



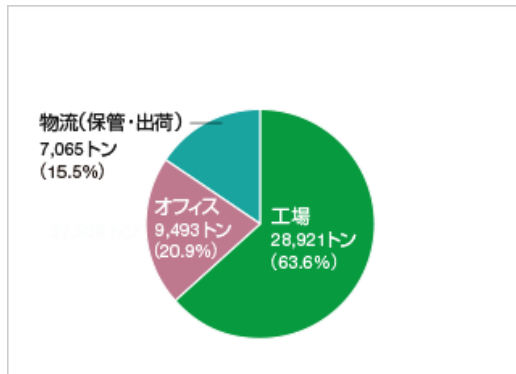
※報告対象範囲のAの範囲で算出しています。

CO2排出量の推移

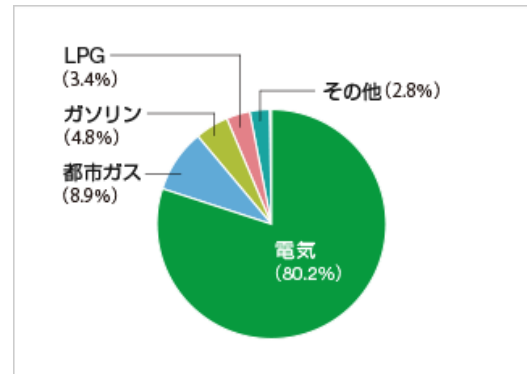


※2011年度までは報告対象組織のAの範囲で、2012年度以降はBの範囲で開示しています。

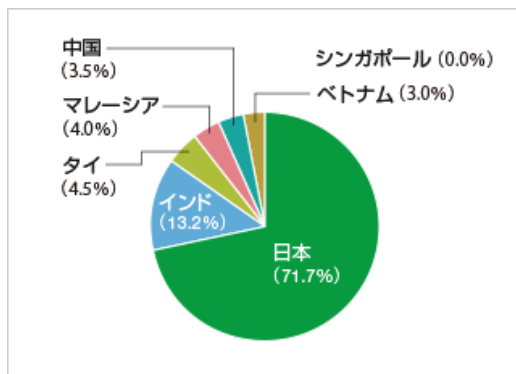
CO2排出量の排出元別内訳



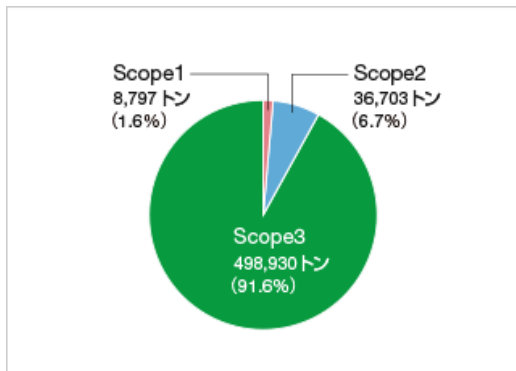
CO2排出量の排出源別内訳



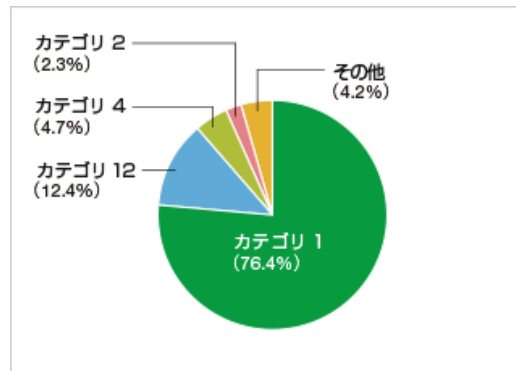
CO2排出量の国別排出量



サプライチェーン温室効果ガス排出量  
(スコープ別排出量)



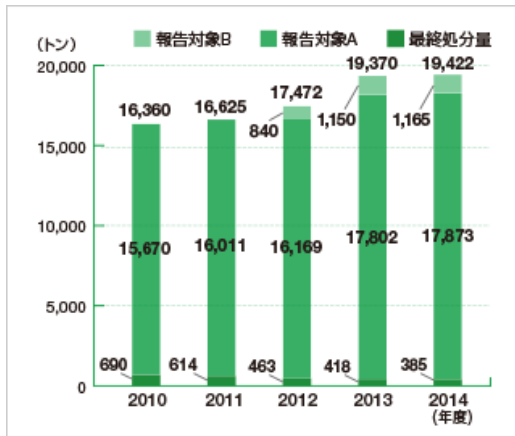
サプライチェーン温室効果ガス排出量  
(スコープ3排出量)



スコープ3のカテゴリと排出量

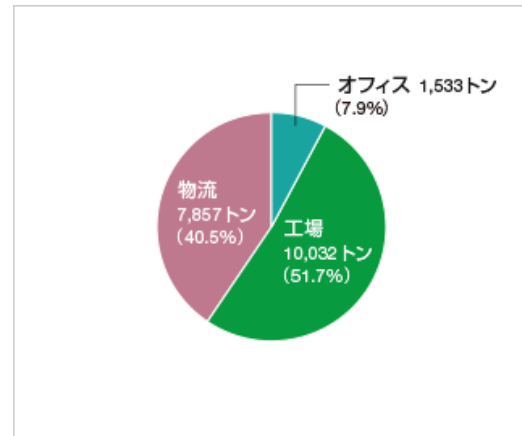
カテゴリ	該当・非該当	非該当の理由	スコープ3排出量	内訳比率
カテゴリ1	該当	-	381,406	76.4%
カテゴリ2	該当	-	11,232	2.3%
カテゴリ3	該当	-	4,041	0.8%
カテゴリ4	該当	-	23,304	4.7%
カテゴリ5	該当	-	3,501	0.7%
カテゴリ6	該当	-	867	0.2%
カテゴリ7	該当	-	2,319	0.5%
カテゴリ8	非該当	スコープ1・2に含むため	-	0.0%
カテゴリ9	非該当	カテゴリ4に含むため	-	0.0%
カテゴリ10	非該当	完成品メーカーであり中間製品がないため	-	0.0%
カテゴリ11	該当	-	6,091	1.2%
カテゴリ12	該当	-	62,075	12.4%
カテゴリ13	該当	-	4,093	0.8%
カテゴリ14	非該当	フランチャイズはないため	-	0.0%
カテゴリ15	非該当	投資事業者ではないため	-	0.0%
合計	-	-	498,930	-

排出物のリサイクル量と最終処分量

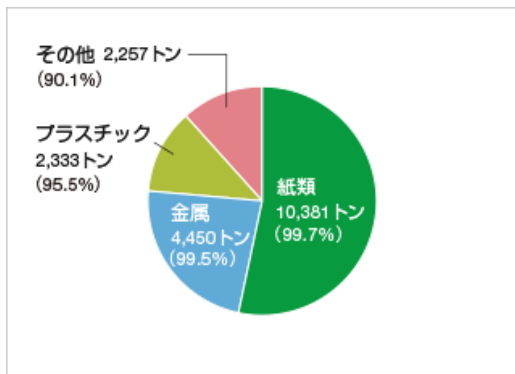


※2011年度までは報告対象組織のAの範囲で、2012年度以降はBの範囲で開示しています。

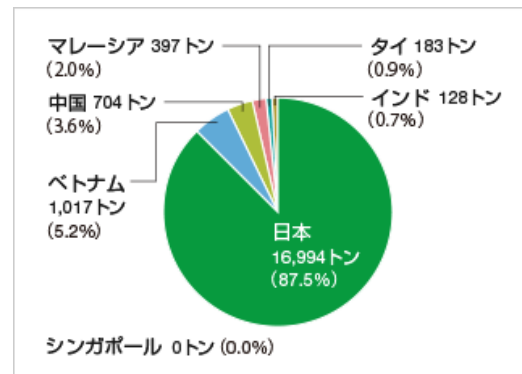
排出元別の内訳



排出物の内訳(カッコ内はリサイクル率)



国別排出量





## PRTR法対象化学物質

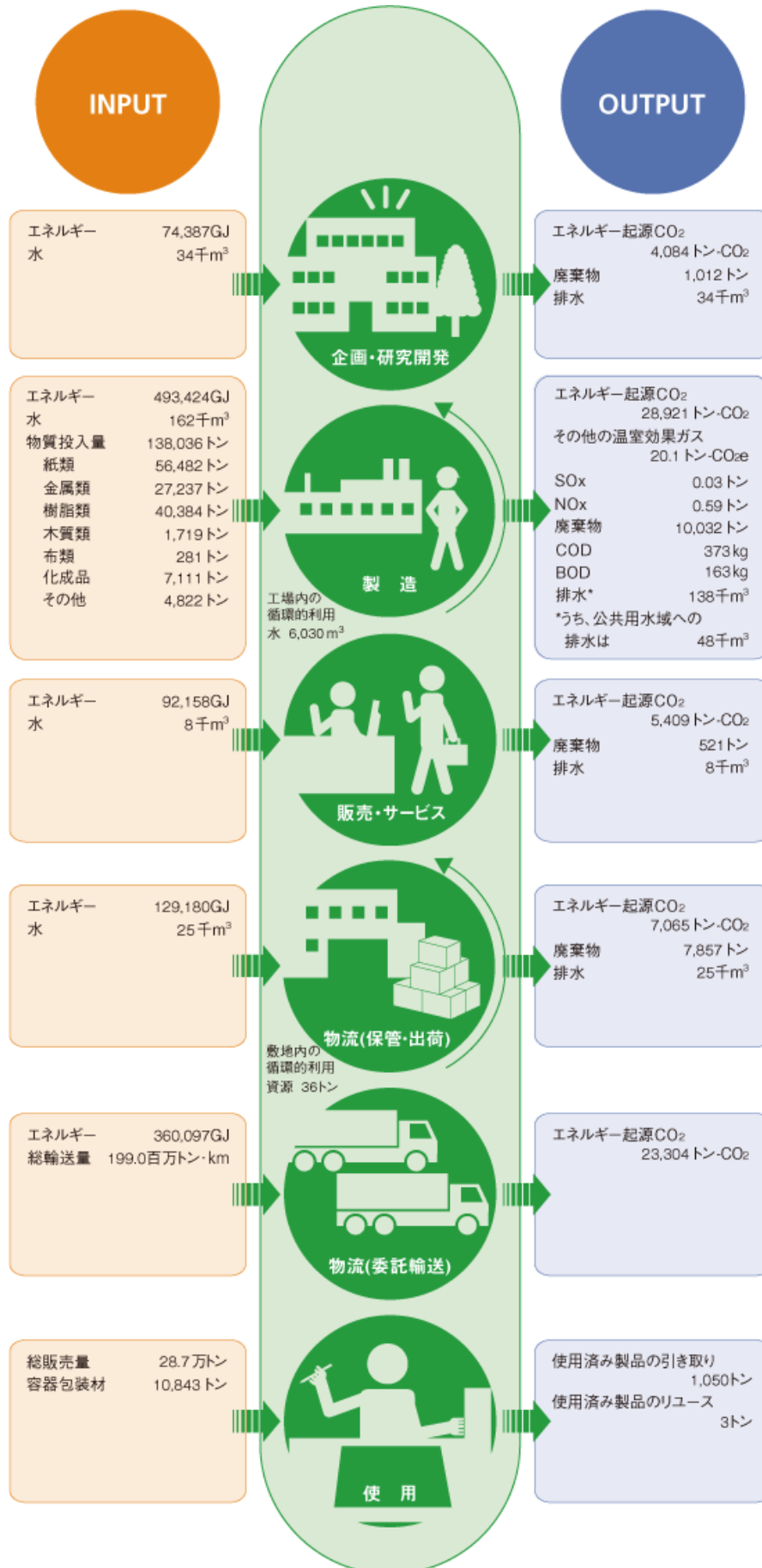
政令 番号	化学物質名	取扱量 kg	排出・移動量					除去処 理量 kg	消費量 kg
			大気排 出量 kg	公共用 水域排 出量 kg	下水道 移動量 kg	廃棄物 量 kg	小計 kg		
1	亜鉛の水溶性化合物	204.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	204.8	0.0
20	2-アミノエタノール	70.0	66.5	3.5	0.0	0.0	70.0	0.0	0.0
53	エチルベンゼン	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
71	塩化第二鉄	12,732.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12,732.0	0.0
80	キシレン	26.9	18.8	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0	8.1
125	クロロベンゼン	5.0	0.1	0.0	0.0	0.3	0.4	0.0	4.6
134	酢酸ビニル	575.0	30.5	3.3	4.2	18.3	56.2	0.0	518.7
181	ジクロロベンゼン	2.7	2.7	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0
235	臭素酸の水溶性塩	699.8	699.8	0.0	0.0	0.0	699.8	0.0	0.0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	139.2	0.0	0.0	0.0	139.2	139.2	0.0	0.0
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	41.7	0.0	0.0	0.0	41.7	41.7	0.0	0.0
300	トルエン	68.7	6.1	0.0	0.0	0.9	7.0	49.3	12.4
309	ニッケル化合物	55.8	0.0	0.0	0.0	39.0	39.0	0.0	16.8
354	フタル酸ジ-ノルマル-ブ チル	307.5	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	306.3
392	ノルマル-ヘキサン	614.5	609.6	0.0	0.0	0.1	609.7	0.0	4.8
403	ベンゾフェノン	32.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.4
407	ポリ(オキシエチレン)= アルキルエーテル	902.7	576.2	40.5	0.0	286.0	902.7	0.0	0.0
410	ポリ(オキシエチレン)= ノニルフェニルエーテル	39.2	39.2	0.0	0.0	0.0	39.2	0.0	0.0
447	メチレンビス(4,1-シクロ ヘキシレン)=ジイソシア ネート	160.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	160.2
448	メチレンビス(4,1-フェニ レン)=ジイソシアネート	52.3	52.3	0.0	0.0	0.0	52.3	0.0	0.0
合計		16,730.4	2,101.8	47.3	4.2	526.8	2,680.0	12,986.1	1,064.4

※PRTR法の届出対象事業所が使用したPRTR法第一種指定化学物質の取扱量、排出・移動量、除去処理量、リサイクル量、消費量。これらの算定は、経済産業省・環境省「PRTR 排出量など算出マニュアル第4.1版(平成23年3月)」を参照。

※除去処理量は、「PRTR対象物質」を場内で焼却、中和、分解、反応処理などにより他物質に変化した量をいう。

※消費量は、「PRTR対象物質」が反応により他物質に変化したり、製品に含有もしくは同伴されて場外に持ち出される量をいう。

環境負荷マテリアルフロー



※報告対象範囲のBの範囲で開示しています。

## Input項目

指標	単位	算定方法
エネルギー使用量	GJ	電力、ガス(都市ガス、LPG、天然ガス)、油(ガソリン、軽油、灯油、A重油)、熱(温水、冷水) 電力の単位発熱量は、エネルギーの使用の合理化などに関する法律施行規則(平成20年4月1日施行)の昼間及び夜間の電力の値を採用 ガス、油及び熱の単位発熱量は、環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer.3.4(平成25年5月)」の値を採用
水	千m <sup>3</sup>	水道水、工業用水
物質投入量	トン	製品を製造するために使用した原材料の量
総販売量	万トン	ファニチャー製品、ステーションナリー製品のデータ(コクヨカムリンを除く)
容器包装材	トン	製品の包装に使用した包装材の量

## Output項目

指標	単位	算定方法
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	トン CO <sub>2</sub>	電力、ガス、油、熱の使用によって発生する二酸化炭素排出量 ※ 関連情報:「 <a href="#">温暖化防止対策</a> 」 日本の電力のCO <sub>2</sub> 排出係数は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく係数(電気事業者ごとの2012年実績及び2013年度実績による実排出係数)を採用 海外の電力のCO <sub>2</sub> 排出係数は、持続可能な発展のための世界経済人会議(WBCSD)並びに世界資源研究所(WRI)が公開しているGHGプロトコルウェブサイト内の各国ごとの係数を採用 ガス、油及び熱のCO <sub>2</sub> 排出係数は、環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer.3.4(平成25年5月)」の値を採用 物流(委託輸送)の二酸化炭素排出量の計算には、トンキロ法と燃費法を併用
その他の温室効果ガス	トン CO <sub>2</sub> e	生産に係わる非エネルギー起源の温室効果ガス(CO <sub>2</sub> 、CH <sub>4</sub> 、N <sub>2</sub> O)の排出量を二酸化炭素に換算した量の合計。排出係数は、環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer.3.4(平成25年5月)」の値を採用
SO <sub>x</sub> 、NO <sub>x</sub>	トン	生産を行っている工場のばい煙発生施設からの排出量
廃棄物	トン	廃棄物など排出量(排出物)は、事業所から排出した廃棄物量、有価物量の合計 リサイクル量は、廃棄物など排出量(排出物)のうちマテリアルリサイクルもしくはサーマルリサイクルされたものと、有価物量の合計 最終処分量は、廃棄物など排出量(排出物)のうち単純焼却もしくは直接埋立された量の合計 ※ 関連情報:「 <a href="#">省資源・リサイクル</a> 」 産業廃棄物が体積で把握されている場合、環境省通知(平成18年12月27日環産廃発第061227006号)に記載されている産業廃棄物の体積から重量への換算係数(参考値)を採用
排水量	千m <sup>3</sup>	公共用水域、下水道への排水量
COD、BOD	kg	国内工場のうち、法律によって水質の測定が義務付けられている工場からの公共用水域への排出量

## その他項目

指標	単位	算定方法
総輸送量	トン・km	委託輸送のうち、家具製品輸送及び店舗什器製品輸送、文具製品輸送、カウネットが行う通信販売による輸送及びアクタスの商品輸送の日本国内輸送データ及び海外拠点間の製品輸送、マレーシア国内の製品輸送量の合計
工場内の循環的利用水	m <sup>3</sup>	事業所内部での循環的利用量
敷地内の循環的利用資源	トン	(株)コクヨロジテムとコクヨサプライロジスティクス(株)における梱包材などの事業所内部での再利用量
使用済み製品の引き取り	トン	(株)コクヨロジテムが顧客から回収した使用済み製品の引き取り量
使用済み製品のリユース	トン	(株)コクヨロジテムが顧客から回収した使用済み製品のうち、リユースした量





## ISO14001 認証対象サイト

No.	事業会社名	サイト名
1	コクヨ	本社
2		霞が関オフィス
3		名古屋オフィス
4		品川オフィス
5	コクヨKハート	本社
6	コクヨS&T	本社
7		品川オフィス
8	コクヨMVP	鳥取工場
9		青谷工場
10	コクヨ工業滋賀	本社
11	コクヨファニチャー	本社(WS含む)
12		品川オフィス
13		霞が関オフィス
14		大崎オフィス
15		名古屋オフィス
16		梅田オフィス
17		三重工場
18		芝山工場
19		フクタニ事業所
20	コクヨロジテム	本社
21		仙台配送センター
22		群馬配送センター
23		首都圏納品配送センター
24		新千葉配送センター
25		滋賀配送センター
26		三重配送センター
27		伊那配送センター
28		中部納品配送センター
29		藤原配送センター
30		岡山配送センター
31		佐賀事業所
32	関西納品配送センター	
33	コクヨサプライロジスティクス	本社
34		茨城配送センター
35		首都圏IDC
36		中部IDC
37		滋賀NDC
38		大阪南港配送センター
39		九州IDC
40		近畿IDC

No.	事業会社名	サイト名
41	カウネット	本社
42		札幌物流センター
43		名古屋物流センター
44		福岡物流センター
45	コクヨエンジニアリング&テクノロジー	本社
46		東北支店
47		中部支店
48		関西支店
49		広島営業所
50	九州支店	
51	コクヨマーケティング	本社
52		立川オフィス
53		千葉オフィス
54		埼玉オフィス
55		横浜オフィス
56		長野オフィス
57		名古屋オフィス
58		静岡オフィス
59		大阪オフィス
60		梅田オフィス
61		京都オフィス
62		神戸オフィス
63		和歌山オフィス
64		広島オフィス
65		山口オフィス
66		松江オフィス
67		福岡オフィス
68		長崎オフィス
69		鹿児島オフィス
70	沖縄オフィス	
71	宮崎オフィス	
72	KTL	本社
73	コクヨ(マレーシア)	本社
74	コクヨ-IKタイランド	本社
75	コクヨカムリン	Tarapur
76		Samba

**環境会計**

(単位:万円)

項目	環境投資		費用		効果		計	
	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年
公害防止	143	201	841	491	0	0	984	692
温暖化防止	1,276	1,437	96	604	▲3,011	▲3,010	▲1,640	▲969
省資源・リサイクル	1,878	1,243	28,151	30,020	▲19,107	▲17,865	10,922	13,398
エコプロダクツの調達・提供	0	0	12,683	11,579	▲187	0	12,496	11,579
環境技術の調査研究	0	0	477	645	0	0	477	645
環境コミュニケーション	0	0	1,371	3,309	▲2	0	1,370	3,309
マネジメント体制構築	0	0	5,657	2,776	0	0	5,657	2,776
環境損傷対応	0	0	1,731	8	0	0	1,731	8
計	3,296	2,881	51,008	49,431	▲22,307	▲20,874	31,997	31,438

※報告対象範囲のBの範囲で開示しています。

**効果内訳**

項目	対策内容	2013年	2014年
温暖化防止	省エネ設備の導入効果	▲1,799	▲858
	運用改善による効果	▲1,212	▲2,152
省資源・リサイクル	分別・リサイクルにより得られた収入	▲16,119	▲15,267
	廃棄物の削減	▲2,988	▲2,598
エコプロダクツの調達・提供	リサイクル品利用によるコスト削減	▲187	0
計		▲22,305	▲20,874

## 拠点別レポート

### 国内拠点レポート

コクヨでは国内外の主要なサイトについて、事業活動が環境に与える負荷を把握し、対策の検討や目標の設定などに活用しています。国内では5カ所の工場について開示しています。2014年度、国内5工場のCO<sub>2</sub>の排出量の合計は、生産増や内製化の影響を受けて増加しました。

※各表の中で、数値が「0」の項目は「四捨五入すると0になる」ことを、また「-」で示した項目は対象がないことを意味しています。

※排水に関しては法規制上測定を要するサイトのみ掲載するとしていますが、それに該当しない工業滋賀については2007年度にpHの異常値が出ていることから、とくに掲載しています。

・ コクヨファニチャー  
(三重工場)

・ コクヨファニチャー  
(芝山工場)

・ コクヨ工業滋賀

・ コクヨMVP(鳥取工場)

・ コクヨMVP(青谷工場)

### 海外拠点レポート

タイ、マレーシア、ベトナム、中国・上海工場、インド(5工場)の9工場について開示しています。2014年はマレーシア、ベトナム及びインド全体で生産増によりCO<sub>2</sub>排出量が増加しています。

・ コクヨ-IK(タイランド)

・ コクヨ(マレーシア)

・ コクヨベトナム

・ 国営商業(上海)有限公司  
上海工場

・ コクヨカムリン  
(インド:タランブール工場)

・ コクヨカムリン  
(インド:タロージャ工場)

・ コクヨカムリン  
(インド:パサイ工場)

・ コクヨカムリン  
(インド:サンバ工場)

・ コクヨカムリン  
(インド:ジャムー工場)

拠点別レポート  
**コクヨファニチャー(三重工場)**

所在地	三重県名張市西田原2012番地
主要製品	スチールデスク、ローパーテーションなど
操業開始	1993年5月
敷地面積	145,977m <sup>2</sup>



インプット		2013年度	2014年度
エネルギー	エネルギー投入量	89,333GJ	88,054GJ
	燃料	33,026GJ	32,178GJ
	電気	56,308GJ	55,876GJ
水資源	水道水	40,182m <sup>3</sup>	39,271m <sup>3</sup>
アウトプット		2013年度	2014年度
大気への排出	CO <sub>2</sub>	4,868t	4,616t
	SO <sub>x</sub>	0.02t	0.02t
	NO <sub>x</sub>	0.53t	0.53t
廃棄物	総排出量	1,106t	1,107t
	再生利用・熱回収	1,105t	1,106t
	最終処分	1t	1t
水域への排出	排水量	31,768m <sup>3</sup>	32,420m <sup>3</sup>
	公共水域への排出	31,768m <sup>3</sup>	32,420m <sup>3</sup>
	下水道への排出	-	-
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	PH6.0~7.7	PH7.1~7.6
	COD	9.1mg/L	8.9mg/L
	BOD	1.6mg/L	1.9mg/L
	SS	1.8mg/L	1.5mg/L

拠点別レポート  
**コクヨファニチャー(芝山工場)**

所在地	千葉県山武郡芝山町大台3155番4号
主要製品	間仕切り、ローパーテーション、 収納家具など
操業開始	1994年6月
敷地面積	73,734m <sup>2</sup>



インプット		2013年度	2014年度
エネルギー	エネルギー投入量	121,262GJ	119,393GJ
	燃料	57,850GJ	56,442GJ
	電気	63,412GJ	62,951GJ
水資源	水道水	17,276m <sup>3</sup>	17,573m <sup>3</sup>
アウトプット		2013年度	2014年度
大気への排出	CO <sub>2</sub>	6,124t	6,201t
	SO <sub>x</sub>	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-
廃棄物	総排出量	2,594t	2,486t
	再生利用・熱回収	2,594t	2,286t
	最終処分	0t	0t
水域への排出	排水量	11,297m <sup>3</sup>	11,614m <sup>3</sup>
	公共水域への排出	4,161m <sup>3</sup>	4,171m <sup>3</sup>
	下水道への排出	7,136m <sup>3</sup>	7,443m <sup>3</sup>
水域への 排水規制項目	水素イオン濃度	pH7.2	pH7.2
	COD	1.0mg/L	4.0mg/L
	BOD	6.0mg/L	2.0mg/L
	SS	6.5mg/L	5.0mg/L

拠点別レポート  
**コクヨ工業滋賀**

所在地	滋賀県愛知郡愛荘町上蚊野312番地
主要製品	ノート、PPC用紙、複写簿、 ルーズリーフなど
操業開始	1980年10月
敷地面積	114,294m <sup>2</sup>



インプット		2013年度	2014年度
エネルギー	エネルギー投入量	68,734GJ	70,710GJ
	燃料	1,106GJ	1,197GJ
	電気	67,628GJ	69,513GJ
水資源	水道水	5,076m <sup>3</sup>	6,491m <sup>3</sup>
アウトプット		2013年度	2014年度
大気への排出	CO <sub>2</sub>	3,437t	3,698t
	SO <sub>x</sub>	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-
廃棄物	総排出量	2,634t	2,665t
	再生利用・熱回収	2,634t	2,665t
	最終処分	0t	0t
水域への排出	排水量	5,023m <sup>3</sup>	6,421m <sup>3</sup>
	公共水域への排出	-	-
	下水道への排出	5,023m <sup>3</sup>	6,421m <sup>3</sup>
水域への 排水規制項目	水素イオン濃度	pH6.8~7.5	pH7.1~8.3
	COD	2.4mg/L	3.8mg/L
	BOD	4.0mg/L	1.5mg/L
	SS	3.6mg/L	5.2mg/L

拠点別レポート

コクヨMVP(鳥取工場)

所在地	鳥取県鳥取市湖山町南2丁目201番地
主要製品	カスタムステーショナリー
操業開始	2007年9月 前身のコクヨ事務用品工業は、 1962年12月に操業開始)
敷地面積	38,389m <sup>2</sup>



インプット		2013年度	2014年度
エネルギー	エネルギー投入量	17,451GJ	17,742GJ
	燃料	1,115GJ	1,263GJ
	電気	16,336GJ	16,479GJ
水資源	水道水	6,460m <sup>3</sup>	9,040m <sup>3</sup>
アウトプット		2013年度	2014年度
大気への排出	CO <sub>2</sub>	1,241t	1,284t
	SO <sub>x</sub>	0.001t	0.001t
	NO <sub>x</sub>	0.036t	0.048t
廃棄物	総排出量	931t	930t
	再生利用・熱回収	923t	923t
	最終処分	7t	7t
水域への排出	排水量	6,460m <sup>3</sup>	9,040m <sup>3</sup>
	公共水域への排出	-	-
	下水道への排出	6,460m <sup>3</sup>	9,040m <sup>3</sup>
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	法規制対象外	法規制対象外
	COD	同上	同上
	BOD	同上	同上
	SS	同上	同上

拠点別レポート

コクヨMVP(青谷工場)

所在地	鳥取県鳥取市青谷町青谷1114番
主要製品	カスタムステーショナリー
操業開始	2007年9月 (前身のコクヨ事務用品工業株式会社 青谷工場は、2000年4月に操業開始)
敷地面積	34,607m <sup>2</sup>



インプット		2013年度	2014年度
エネルギー	エネルギー投入量	14,574GJ	13,573GJ
	燃料	888GJ	848GJ
	電気	13,686GJ	12,725GJ
水資源	水道水	3,716m <sup>3</sup>	4,281m <sup>3</sup>
アウトプット		2013年度	2014年度
大気への排出	CO <sub>2</sub>	1,038t	975t
	SO <sub>x</sub>	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-
廃棄物	総排出量	414t	399t
	再生利用・熱回収	414t	399t
	最終処分	0t	0t
水域への排出	排水量	3,716m <sup>3</sup>	4,281m <sup>3</sup>
	公共水域への排出	3,716m <sup>3</sup>	4,281m <sup>3</sup>
	下水道への排出	-	-
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	pH6.8	pH6.2
	COD	法規制対象外	法規制対象外
	BOD	5.8mg/L	2.2mg/L
	SS	15mg/L	2.8mg/L



拠点別レポート

コクヨ-IK(タイランド)

所在地	529 Moo 4 Bangpoo Industrial Estate Soi 8C, T.Praksa, A.Muang, Samutprakam 10280, Thailand
主要製品	クリヤーブック、PPファイル、テープのりなど
操業開始	1996年12月
敷地面積	12,679m <sup>2</sup>



インプット		2013年度	2014年度
エネルギー	エネルギー投入量	39,732GJ	38,762GJ
	燃料	779GJ	647GJ
	電気	38,953GJ	38,115GJ
水資源	水道水	18,868m <sup>3</sup>	19,435m <sup>3</sup>
アウトプット		2013年度	2014年度
大気への排出	CO <sub>2</sub>	2,055t	2,029t
	SO <sub>x</sub>	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-
廃棄物	総排出量	232t	183t
	再生利用・熱回収	202t	146t
	最終処分	30t	37t
水域への排出	排水量	15,094m <sup>3</sup>	15,548m <sup>3</sup>
	公共水域への排出	-	-
	下水道への排出	15,094m <sup>3</sup>	15,548m <sup>3</sup>
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	pH7.8	pH7.1
	COD	164mg/L	110mg/L
	BOD	51.0mg/L	18.5mg/L
	SS	39.0mg/L	24.0mg/L

拠点別レポート  
**コクヨ(マレーシア)**

所在地	Lot 79 & 83, Persiaran Bunga Tanjung 1, Senawang Industrial Park, 70400 Seremban, Negeri Sembilan Darul Khusus, Malaysia
主要製品	スチールデスク、ローパーテーション、 収納家具など
操業開始	1999年10月
敷地面積	58,000m <sup>2</sup>



インプット		2013年度	2014年度
エネルギー	エネルギー投入量	28,026GJ	28,926GJ
	燃料	11,433GJ	12,749GJ
	電気	16,593GJ	16,177GJ
水資源	水道水	7,629m <sup>3</sup>	5,004m <sup>3</sup>
アウトプット		2013年度	2014年度
大気への排出	CO <sub>2</sub>	1,678t	1,769t
	SO <sub>x</sub>	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-
廃棄物	総排出量	367t	397t
	再生利用・熱回収	311t	328t
	最終処分	56t	69t
水域への排出	排水量	3,244m <sup>3</sup>	4,113m <sup>3</sup>
	公共水域への排出	666m <sup>3</sup>	1,363m <sup>3</sup>
	下水道への排出	2,578m <sup>3</sup>	2,750m <sup>3</sup>
水域への 排水規制項目	水素イオン濃度	pH8.0	pH7.5
	COD	31.0mg/L	28.7mg/L
	BOD	6.0mg/L	6.2mg/L
	SS	6.0mg/L	6.1mg/L

拠点別レポート  
**コクヨベトナム**

所在地	Land Plot B2-B7, Nomura-Haiphong IZ, An Duong Dist., Haiphong City, Vietnam
主要製品	ノート、フラットファイル、厚表紙ファイル、 タックラベルなど
操業開始	2006年11月
敷地面積	51,544m <sup>2</sup>



インプット		2013年度	2014年度
エネルギー	エネルギー投入量	31,246GJ	32,061GJ
	燃料	668GJ	623GJ
	電気	30,578GJ	31,438GJ
水資源	水道水	11,419m <sup>3</sup>	10,177m <sup>3</sup>
アウトプット		2013年度	2014年度
大気への排出	CO <sub>2</sub>	1,218t	1,361t
	SO <sub>x</sub>	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-
廃棄物	総排出量	887t	1,017t
	再生利用・熱回収	871t	1,017t
	最終処分	16t	0t
水域への排出	排水量	9,135m <sup>3</sup>	8,141m <sup>3</sup>
	公共水域への排出	-	-
	下水道への排出	9,135m <sup>3</sup>	8,141m <sup>3</sup>
水域への 排水規制項目	水素イオン濃度	pH6.87	pH7.14
	COD	69.3mg/L	81.3mg/L
	BOD	35.4mg/L	53.3mg/L
	SS	測定対象外	測定対象外

拠点別レポート

国営商業(上海)有限公司 上海工場

所在地	上海市奉賢区人傑路128号
主要製品	無線綴ノート、スパイラルノート、ツインリングノート、レポートパッド他
操業開始	2012年8月
敷地面積	27,457.7m <sup>2</sup>



インプット		2013年度	2014年度
エネルギー	エネルギー投入量	16,751GJ	12,921GJ
	燃料	-	-
	電気	16,751GJ	12,921GJ
水資源	水道水	5,206m <sup>3</sup>	5,302m <sup>3</sup>
アウトプット		2013年度	2014年度
大気への排出	CO <sub>2</sub>	1,248t	984t
	SO <sub>x</sub>	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-
廃棄物	総排出量	744t	704t
	再生利用・熱回収	743t	641t
	最終処分	1t	63t
水域への排出	排水量	4,685m <sup>3</sup>	4,772m <sup>3</sup>
	公共水域への排出	-	-
	下水道への排出	4,685m <sup>3</sup>	4,772m <sup>3</sup>
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	測定対象外	測定対象外
	COD	同上	同上
	BOD	同上	同上
	SS	同上	同上

拠点別レポート

コクヨカムリン(インド:タラプール工場)

所在地	MIDC Tarapur, Tal- Palghar, Dist- Thane, Pin- 401506
主要製品	絵の具、ポスターカラー、クレヨン、シャープペンシル芯など
操業開始	1974年4月
敷地面積	10,045m <sup>2</sup>

インプット		2013年度	2014年度
エネルギー	エネルギー投入量	22,535GJ	39,086GJ
	燃料	334GJ	1,156GJ
	電気	22,201GJ	37,930GJ
水資源	水道水	23,726m <sup>3</sup>	21,078m <sup>3</sup>
アウトプット		2013年度	2014年度
大気への排出	CO <sub>2</sub>	2,137t	3,384t
	SO <sub>x</sub>	-	0.01t
	NO <sub>x</sub>	-	0.005t
廃棄物	総排出量	0.3t	55t
	再生利用・熱回収	0t	55t
	最終処分	0.3t	0t
水域への排出	排水量	23,726m <sup>3</sup>	21,078m <sup>3</sup>
	公共水域への排出	-	-
	下水道への排出	23,726m <sup>3</sup>	21,078m <sup>3</sup>
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	pH7.2	pH7.4
	COD	120.0mg/L	75.0mg/L
	BOD	23.0mg/L	15.0mg/L
	SS	12.0mg/L	20.0mg/L

拠点別レポート

コクヨカムリン(インド:タロージャ工場)

所在地	M.I.D.C Taloja Navi Mumbai - 410 208
主要製品	インク、スティックのりなど
操業開始	1996年4月
敷地面積	3,801m <sup>2</sup>

インプット		2013年度	2014年度
エネルギー	エネルギー投入量	2,745GJ	2,719GJ
	燃料	186GJ	70GJ
	電気	2,559GJ	2,649GJ
水資源	水道水	8,912m <sup>3</sup>	9,798m <sup>3</sup>
アウトプット		2013年度	2014年度
大気への排出	CO <sub>2</sub>	257t	239t
	SO <sub>x</sub>	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-
廃棄物	総排出量	0.3t	0.5t
	再生利用・熱回収	0t	0t
	最終処分	0.3t	0.5t
水域への排出	排水量	8,912m <sup>3</sup>	9,798m <sup>3</sup>
	公共水域への排出	-	-
	下水道への排出	8,912m <sup>3</sup>	9,798m <sup>3</sup>
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	pH6.5	pH6.5
	COD	32.0mg/L	32.0mg/L
	BOD	12.0mg/L	12.0mg/L
	SS	40.0mg/L	40.0mg/L

拠点別レポート

コクヨカムリン(インド:バサイ工場)

所在地	Rajprabha Udyog Nagar Building No. 4, Golani Naka, Walive, Vasai (East) Dist.-Thane - 401 30
主要製品	マーカー類、ボールペン・ジェルペン、修正ペン、シャープペンシルなど
操業開始	2009年
敷地面積	3,528m <sup>2</sup>

インプット		2013年度	2014年度
エネルギー	エネルギー投入量	8,595GJ	8,947GJ
	燃料	199GJ	279GJ
	電気	8,396GJ	8,668GJ
水資源	水道水	681m <sup>3</sup>	548m <sup>3</sup>
アウトプット		2013年度	2014年度
大気への排出	CO <sub>2</sub>	814t	787t
	SO <sub>x</sub>	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-
廃棄物	総排出量	-	24.0t
	再生利用・熱回収	-	5.0t
	最終処分	-	19.0t
水域への排出	排水量	681m <sup>3</sup>	548m <sup>3</sup>
	公共水域への排出	-	-
	下水道への排出	681m <sup>3</sup>	548m <sup>3</sup>
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	法規制対象外	法規制対象外
	COD	同上	同上
	BOD	同上	同上
	SS	同上	同上

拠点別レポート

コクヨカムリン(インド:サンバ工場)

所在地	LANE NO. 9, SIDCO, PHASE - 1 I.G.C., SAMBA- 184 121
主要製品	絵の具
操業開始	2008年1月
敷地面積	10,040m <sup>2</sup>

インプット		2013年度	2014年度
エネルギー	エネルギー投入量	8,605GJ	8,990GJ
	燃料	25GJ	1,249GJ
	電気	8,579GJ	7,741GJ
水資源	水道水	2,913m <sup>3</sup>	4,500m <sup>3</sup>
アウトプット		2013年度	2014年度
大気への排出	CO <sub>2</sub>	820t	770t
	SO <sub>x</sub>	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-
廃棄物	総排出量	22.3t	48.3t
	再生利用・熱回収	0t	47.9t
	最終処分	22.3t	0.4t
水域への排出	排水量	2,913m <sup>3</sup>	4,500m <sup>3</sup>
	公共水域への排出	-	-
	下水道への排出	2,913m <sup>3</sup>	4,500m <sup>3</sup>
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	pH5.5~7.1	pH7.5
	COD	204.0mg/L	103.0mg/L
	BOD	24.0mg/L	28.0mg/L
	SS	64.0mg/L	78.0mg/L



拠点別レポート

コクヨカムリン(インド:ジャムー工場)

所在地	101, Gangyal Industrial Area Phase II Jammu - 180 004
主要製品	絵の具
操業開始	2012年4月
敷地面積	-

インプット		2013年度	2014年度
エネルギー	エネルギー投入量	3,881GJ	6,001GJ
	燃料	482GJ	641GJ
	電気	3,399GJ	5,360GJ
水資源	水道水	660m <sup>3</sup>	5,400m <sup>3</sup>
アウトプット		2013年度	2014年度
大気への排出	CO <sub>2</sub>	357t	517t
	SO <sub>x</sub>	-	-
	NO <sub>x</sub>	-	-
廃棄物	総排出量	-	-
	再生利用・熱回収	-	-
	最終処分	-	-
水域への排出	排水量	660m <sup>3</sup>	5,400m <sup>3</sup>
	公共水域への排出	660m <sup>3</sup>	5,400m <sup>3</sup>
	下水道への排出	-	-
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	法規制対象外	法規制対象外
	COD	同上	同上
	BOD	同上	同上
	SS	同上	同上

# KOKUYO

発行 コクヨ株式会社  
 経営管理本部 広報室  
 〒537-8686 大阪市東成区大今里南6-1-1

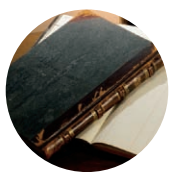
お問い合わせ先 コクヨ株式会社 お客様相談室  
 TEL: 0120-201-594



御通帳



袋帳



洋式帳簿



マール



帳簿用紙見本



中道工場



複写式仕切書



販売店の看板



カーボン紙



初の特約代理店 (伊藤商店)



意匠便箋



経営の信条



書翰箋



領収証



実用便箋



フラットファイル



フリーアルバム



グラフ用紙



スチールデスク



スクラップブック



アルバム



業界初の意匠ノート



ルーズリーフ (給与台帳)



ホームキャビネット



作文用紙



プリント



エレファインダー (箱)



高級領収書



チューブファイル



初代キャンパスノート



生徒用デスク・イス



劇場用イス



品川オフィス



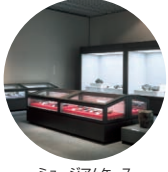
2代目キャンパスノート



ファイルボックス



バイオテックチェア



ミュージアムケース



タックメモ



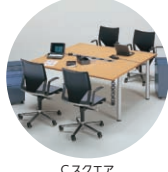
ジンジャータウン (オリジナルキャラクター)



書店向け仕器



コルサチェア



Cスクエア



クリアブック



4代目キャンパスノート



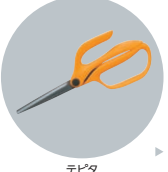
SIMPLEX(シンプレックス)



プニョプニョピン



カウネットカタログ (創刊号)



テビタ



EPIPHY(エビファイ)



かおノート



Wammy(ワミー)



ハリナックス



エアロフィット



M4(エムフォー)



ReEDEN Colours (リエデンカラーズ)



Madre(マドリ)